

平成26年度 播但図書館連絡協議会研究集会 アンケート集計結果

平成26年12月4日（木）実施：参加者25名（アンケート提出者21名）

I. 今回の研究集会について

1. テーマについて

良 い	普 通	悪 い
21 (100%)	0 (12%)	0 (0%)

<記入欄>

(良い)

- ・YAを中高生にすすめるための方策を知りたかったので、勉強になった。
- ・“YA文学”というくくりが、はっきりと認識できていなかったなので、認識を改めるよいきっかけになった。
- ・YAについて、棚はあるけれどありきたりなラインナップになってしまっているので、色々お聞きできてよかったです。
- ・ちょうど聴きたいテーマだったので参考になりました。
- ・YAサービスについては、ほとんど手をつけていない分野なのでたいへん参考になった。
- ・関心はありましたが、なかなか実施できずにいた分野（サービス）でしたので、刺激になりました。
- ・出版社の図書案内などでもよくあるYAについて興味があったのでよかった。
- ・ヤングアダルトの研修はなかなかないと思うので興味深かった。
- ・子どもの本や大人の本と区別せずYA棚を作成できるのが図書館員としても楽しく、またいつも悩みながらコーナーをつくっているので、現在のYAの動向を知れてうなずく場面もあり、今後の展示に生かそうと思う。

2. 講義について

良 い	普 通	悪 い
18 (86%)	3 (14%)	0 (0%)

<記入欄>

(良い)

- ・さまざまなアプローチがあって、目新しかったが、中高生に日本語の美しさや良さをもっと知らせるためにはどんな本がよいのか教えてほしい。
- ・“YA”コーナーが、どうにも、パツとしていないので、当館のコーナーに、反映させてゆきたいです。
- ・ラノベや、中高生が興味があるものについて、もっと動向をつかまねばと思います。
- ・中高生の興味を引く話題の動向を把握することの重要性についてよく分かった。
- ・図書館とはちがう視点からのデータ分析があった。
- ・大変実践的な話で良かった。
- ・研究会に初めて参加したので、少し緊張してましたが、内容がとても興味に合っていたので良かったです。
- ・講義をきき、YA向けにと本を選ぶのは、ブックリストを参考にしたり、担当員以外の職員の話もきき、またネットの話題を重点的にとりいれることをしなければと思いました。課題を頂いたような気がします。

(普通)

- さまざまなアプローチがあった。
- 地域によってYAの特性が違うため全部は参考にならないと思います。

3. 講師について

- よくある“YAコーナー”の不備をはっきりと指摘され、かつ、新しいYAコーナーの提案すべてが、目新しく、とても勉強になった。
- とてもわかりやすいお話でした。ありがとうございました。
- すごく明るくて楽しい方だと思いました。ありがとうございました。
- とても楽しい先生で良かった。又呼んで欲しいです。
- 具体的に例を挙げて話を下さったので、よく理解できた。
- 悩んでいるYAについての情報がえられ、よかった。
- 分かりやすく、聞きやすかったです。
- 発想が新鮮で楽しい内容でした ・ すごく良かったです！
- はっきりとした口調で聞き取りやすかった。
- 現場の状況をご存知なのか？いささか不満。職員減の中では理想論にしか聞けませんでした。私達は今アプローチではなく数字が取れる仕事を求められています。
- 今の時代にとっても敏感な、講師でとても刺激になった。
- かたくるしくなく、気さくな感じでお話ししていただいて、でも、ズバズバ言われるのが、良かったです。
- なかなか厳しい意見があったが、しっかりと今後に活用していきたい

4. 講義の時間について

長 い	適 当	短 い
0 (0%)	16 (76%)	5 (24%)

<記入欄>

(適当)

- 質疑応答がもっとあれば

(短い)

- 勉強になることばかりで、もう少し聞いていたかったです。
- もっといろいろな方面でお聞きしたかったです

5. 開催時期について

- 夏期
- できれば年末ではない方が良かったです。
- どの時期でも良いです。

II. 当協議会の研究集会について、今後希望するテーマ

- 市民を図書館にひきつける方法。 ・ 更に深いYAの話

【参加申込書での希望欄】

- 中高生、若い世代の利用を増やす方法
- 行政と連携した取りくみ事例 ・ 学校との連携、活動など